

01

ボックス  
カルバート

02

コンクリート  
床版

03

擁壁

04

道路用製品  
VS側溝

05

道路用製品  
側溝

06

道路用製品  
境界ブロック

07

樹

08

ポラコン製品

09

名古屋市製品

10

その他製品

11

会社概要

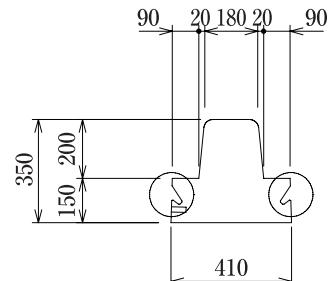
# 防草ブロック

雑草が自ら成長を止める「次世代ブロック」

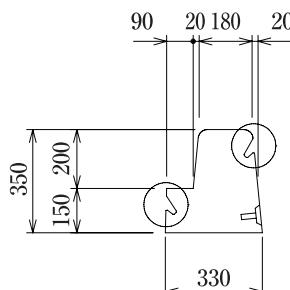
- ・震災復旧・復興に資する技術製品登録
- ・NETIS旧登録技術(CB-050041-V)
- ・平成25年度「環境賞」優良賞技術



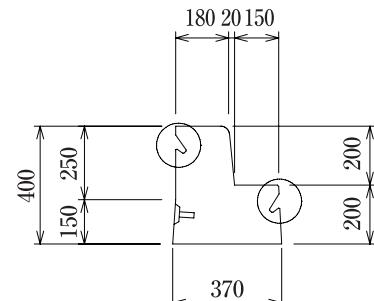
ベース付境界ブロックB



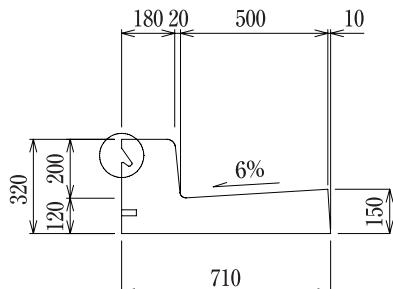
中央分離帯ブロック 両面B



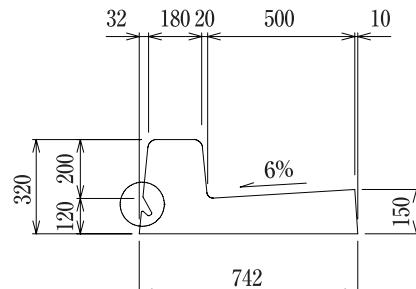
中央分離帯ブロック 片面B



L型街渠ブロック 片面B



L型街渠ブロック 両面B



## 特徴

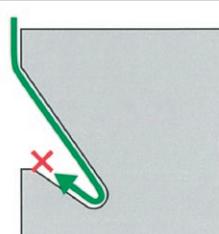
- ・雑草の成長を止めます
- ・維持管理費の軽減
- ・道路環境の美観と安全性の継続
- ・花粉症対策や通学路の安全確保



## 雑草が成長を止める構造

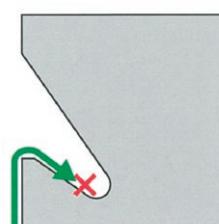
### 根の成長過程

根は地中に向かって下向きに成長しようとするが、成長途中で上向きに変えられるため、成長できずに枯れてしまう。



### 芽の成長過程

芽は太陽に向かって上向きに成長しようとするが、途中で進路を下向きに変えられるため、成長できずに枯れてしまう。



# 防草ブロック

## 防草ブロックと従来ブロックの違い

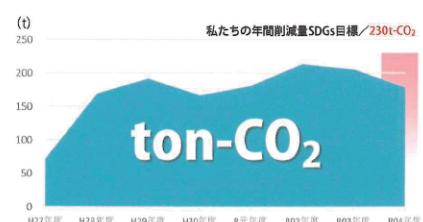
中央分離帯(左)防草ブロック・(右)従来ブロック



製品名:歩車境界ブロック、名古屋国道事務所 平成22年度22号枇杷島電線共同溝名西西工事(完了:2012.08)

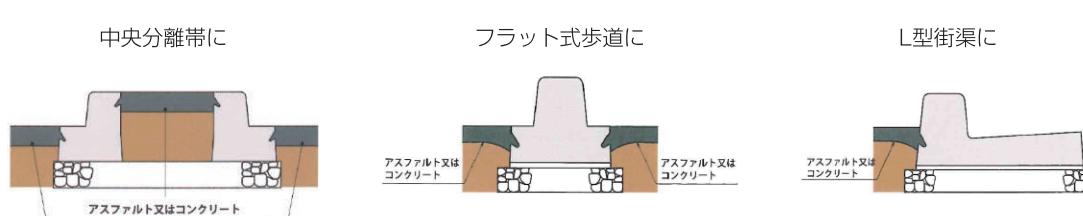
## CO<sub>2</sub>削減量の見える化 国土交通省・NETIS新技術登録防草対策工事労務費より算定

- ・算定結果:私達の防草製品の活用により、新設や既設への従来防草対策工事が不要となり、施工作業等に伴う温室効果ガス「CO<sub>2</sub>削減」を実現。
- ・従来防草対策作業範囲100mあたり「232kg-CO<sub>2</sub>」の排出量を削減。
- ・通常、防草対策は同じ現場で数年毎に繰り返し実施され、私達の防草製品によるCO<sub>2</sub>排出量の軽減は、経年毎に本算定結果の「**数倍**」となります。
- ・防草ブロックを使用する事で、従来防草対策工事で排出するCO<sub>2</sub>量は大幅に削減する。年間の製品敷設総延長から削減量を「**換算**」する。



※防草ブロック製品によるCO<sub>2</sub>排出ガス削減量の算定は、従来防草対策工事で排出するCO<sub>2</sub>量を基に外部専門家[株]ウェイストボックスによって、弊会製品の施工実績から算定されている。

## 標準構造図(施工例)



本防草ブロック製品設置後のアスファルト・コンクリートの打設は、防草効果を得るために最も重要な工程となります。  
打設前には、切り欠け部に砂・砂利・目地材(モルタル)などの残留物が残らない様に十分な清掃を行い、アスファルト又はコンクリートが切り欠け内に緊密に満たされるように充填を行ってください。